

ホホバ 頒布会便り



発行
毎月一回
(株)アイリス

七月に入り、梅雨も明けていよいよ夏本番。暑さと強い日差しが、身体にもお肌にも厳しい季節です。紫外線対策に追われて、保湿のお手入れを忘れがちな季節ですが、きちんと保湿して、夏の乾燥を防ぎましょう。

夏のお肌の お手入れにもホホバ

夏になると、汗や皮脂でお肌がべたつきがちになり、汗を拭いたり、洗顔の回数が増え、お肌を刺激する事が多くなります。

一方で、水分補給や保湿のお手入れは、ベタつくから、とおろそかになりがち。しかし、汗をかいて冷房の効いた室内に入った時などは、汗



が引くと同時に、肌表面の水分も奪われて乾燥が進んでしまいます。気付かないうちに、刺激を受け続け、乾燥が進む夏のお肌。きちんとホホバでお手入れして、乾燥を防ぎ、ダメージを食い止めましょう。

手足のお肌、 乾いていませんか

この季節は、薄着になり、普段衣服の下に守られていた腕や足の素肌

を出す事が増えてきます。

すると、お肌はちよつとした摩擦で細かく傷ついたり、紫外線による影響、冷房による乾燥などでダメージを受けます。

硬くなったかかとや、足の甲やすね、肘など、お風呂上りにたっぷりのホホバでマッサージして、きれいな素肌をキープしましょう。

夏こそホホバで お肌を守りましょう

夏のお肌は、汗で湿ったり、冷房で乾いたり、一日の中で肌環境が何度も急変します。

さらに、汗を拭く、お風呂でゴシゴシ洗いすぎる等のストレスも多く、気付かない内に傷んでいますから、お風呂上り等に全身のお肌をチエツクして、ホホバでお手入れを。

夏のお肌のお手入れは ホホバで差がつく!?

夏の肌トラブルを減らすためには、乾燥を防ぐ保湿ケアが重要。ベタつきを抑え、しっかりと潤いを保つホホバが活躍します。幅広い用途にどうぞ。

肌を傷めない正しい洗顔を

洗顔回数も増え、肌への刺激が増加する夏にゴシゴシ洗いは厳禁。肌負担のない洗顔を心掛けましょう。洗顔後のタオルの刺激も要注意。こすらず、タオルを肌に押し当てる様に水分を吸い取りましょう。その後は、アロエローションでたっぷり水分補給、ホホバを伸ばして潤いのベールでお肌を守りましょう。

ローションにホホバを混ぜてプッシュ容器に入れ、冷蔵庫で冷やしておく、毛穴も引き締まり、ひんやりと気持ち良く使えるのでオススメです。

夏の肌ストレス

紫外線

洗顔

汗

紫外線の影響
(光老化・メラニン)
日焼け止めの刺激

洗顔回数の増加
角質層のはがれ

汗を拭く等の刺激
汗の塩分
汗の蒸発後の乾燥



水分量の低下・・・たるみ 小ジワ
角質層の肥大・・・くすみ ゴワつき
皮脂づまり・・・吹き出物 肌荒れ



脱水肌は小ジワの原因

夏は、脱水状態や熱中症予防に、こまめな水分補給をと、盛んに言われていますが、これはお肌も同じ。お肌の脱水状態は、小ジワの原因になりますから要注意。

身体水分補給はもちろんですが、お肌にもアロエローション+ホホバでこまめに水分補給と保湿を心掛け、脱水肌を防ぎましょう。

細かな傷や湿疹に

夏は、洗顔やシャワーの回数も増え、汗をかく事も多いので、お肌が湿った状態にいる時間が増えます。

湿った肌は柔らかく、ちょっとした刺激にも過敏になりますから、吹き出物・湿疹などの肌トラブルや、知らない間に腕や足に傷ができていたり、といった事が増えて

きます。

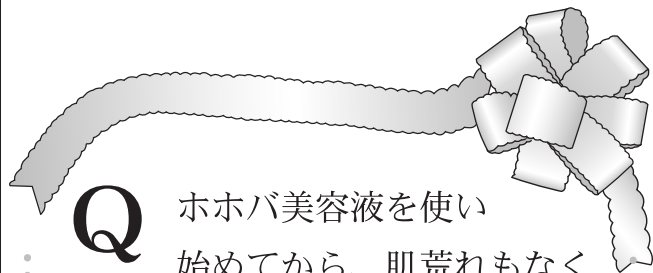
そのままにしておくと、痕がシミになって残ってしまう事もあるので、きちんとホホバでケアしましょう。

夏の素足にホホバ

素足を出すことの増える季節ですが、皮脂の分泌の少ない足のすねやかかとの荒れ、肘やヒザの黒ずみ等は、自分では気付きにくく、意外に見られている場所でも

ありますから、注意したいもの。

また、足のネイル等のお洒落を楽しむ方も増えるこの時期、足の爪周りなど、乾燥しやすい部分にもホホバをたっぷりすりこんでお手入れしましょう。



Q ホホバ美容液を使い始めてから、肌荒れもなくいい具合で気に入っています。でも、気になるのが、強くなってきた日差し。日中はホホバをつけて油焼けしない様に、夜だけにした方がいいのでしょうか？



A ご愛用ありがとうございます。早速、ご質問についてお答えいたします。

通常、オイルは空気や熱で酸化して油焼けの原因となりますが、ホホバは安定性が高く、非常に酸化しづらい性質を持っていますので、酸化して油焼けの原因となる事はありません。安心してお使い下さい。

しかし、紫外線を防止する効果はありませんので、ホホバUVカットの併用をお勧めします。